



2026年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年2月5日

上場会社名 株式会社ジャックス
 コード番号 8584 URL <https://www.jaccs.co.jp/>
 代表者(役職名) 取締役社長 (氏名) 村上 亮
 問合せ先責任者(役職名) 取締役常務執行役員(氏名) 中澤 辰生 TEL 03-5448-1311
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第3四半期の連結業績 (2025年4月1日～2025年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
2026年3月期第3四半期	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第3四半期	145,817	1.6	19,221	△16.6	19,055	△17.4	14,593	△9.7

(注) 包括利益 2026年3月期第3四半期 12,182百万円(△34.0%) 2025年3月期第3四半期 18,465百万円(△26.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
2026年3月期第3四半期	円 銭 376.12	円 銭 375.42
2025年3月期第3四半期	465.23	463.86

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
2026年3月期第3四半期	百万円 3,854,997	百万円 299,105	% 7.6
2025年3月期	3,806,786	255,809	6.5

(参考) 自己資本 2026年3月期第3四半期 292,927百万円 2025年3月期 248,273百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2025年3月期	円 銭 —	円 銭 90.00	円 銭 —	円 銭 100.00	円 銭 190.00
2026年3月期	—	100.00	—		
2026年3月期(予想)				100.00	200.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年3月期の連結業績予想 (2025年4月1日～2026年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
通期	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
	191,500	0.3	20,000	△22.3	20,000	△22.4	15,500	△16.8

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無

新規 一社（社名） 、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2026年3月期3Q	45,059,992株	2025年3月期	35,079,161株
2026年3月期3Q	297,629株	2025年3月期	317,701株
2026年3月期3Q	38,800,828株	2025年3月期3Q	34,726,481株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.6「1. 経営成績等の概況（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（決算補足説明資料の入手方法）

決算補足説明資料は、当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	6
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	6
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	7
(1) 四半期連結貸借対照表	7
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	9
四半期連結損益計算書	9
四半期連結包括利益計算書	10
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(四半期連結貸借対照表に関する注記)	12
(四半期連結損益計算書に関する注記)	13
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	13
(株主資本等に関する注記)	13
(セグメント情報等の注記)	14
(収益認識に関する注記)	15
(1株当たり情報に関する注記)	16

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当社グループでは、2025年度を初年度とする中期3カ年経営計画「Do next!」をスタートさせ、当社グループの長期ビジョンである「アジアのコンシューマーファイナンスカンパニーとしてトップブランドを確立する」の実現に向けて経営基盤の再構築を図っております。本中期経営計画では、株式会社三菱UFJ銀行との資本業務提携契約に基づき、テーマを三菱UFJフィナンシャル・グループ（以下、「MUFGグループ」という。）との連携拡充により「変革」と「再成長」に挑む3年間とし、3つの重点戦略の実行により、当社グループの持続的成長と企業価値の向上に取り組んでおります。

- ①MUFGグループとの連携とM&Aによる成長戦略の加速
- ②「量から質」への転換による抜本的な事業構造改革の推進
- ③ALMの高度化による財務健全性の確保と資本効率の向上

当第3四半期連結累計期間(2025年4月1日～2025年12月31日)につきましては、雇用や所得環境の改善、各種政策効果を背景に個人消費の持ち直しの動きがみられ、景気は緩やかな回復基調を維持しております。一方で、米国の通商政策の動向や物価上昇の継続による個人消費への影響、日銀による政策金利の引き上げなど、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このようななか、国内事業では、クレジット事業において住宅関連商品の取り扱いが堅調に推移しているほか、利上げの影響で減速していたクレジット申し込みが回復傾向を示しました。また、ペイメント事業及びファイナンス事業においては、各種施策の実施により安定的な取引が継続され、取扱高が増加しました。海外事業では、ベトナムにおける四輪の需要拡大や、カンボジアでの営業体制の強化が奏功し、両国の取扱高が増加しました。しかしながら、インドネシアの低迷が影響し、取扱高が減少しました。

この結果、連結取扱高は4兆3,858億1百万円(前年同期比3.2%増)となりました。

連結営業収益は、債権流動化による金融収益が減少した一方で、信用保証残高の積み上げ及び割賦利益繰延残高の戻し入れにより、1,458億17百万円(前年同期比1.6%増)となりました。

連結営業費用は、システム関連費用の増加や、調達金利の上昇に伴う金融費用などが増加し、1,265億96百万円(前年同期比5.1%増)となりました。

以上の結果、連結経常利益は190億55百万円(前年同期比17.4%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は145億93百万円(前年同期比9.7%減)となりました。

セグメント業績の概要は、次のとおりであります。

「国内事業」

(クレジット事業)

ショッピングクレジットは、住宅リフォームにおける金利変動型商品の利用拡大や、太陽光発電におけるセカンダリーソーラーの需要増加を背景とした産業用ソーラーの伸長など、住宅関連商品が堅調に推移しました。一方で、前年度までに実施した利上げの影響は低減しつつあるものの、一部業種の取り扱いを停止したことなどにより、取扱高が減少しました。営業収益は、割賦利益繰延残高の戻し入れにより増加しました。

オートローンは、各インポーターの販売戦略と連動した施策の継続展開や、利上げにより低下した中古車販売店でのシェアが回復傾向を示していることから、取扱高が増加しました。営業収益は、割賦利益繰延残高の戻し入れにより増加しました。

この結果、当事業の取扱高及び営業収益が増加しました。

(ペイメント事業)

カードショッピングは、大型提携先の利用に加え、インバウンド需要の増加やキャッシュレス決済市場の拡大により、海外・国内コード決済の利用が堅調に推移し、取扱高が増加しました。営業

収益は、プロパーカードの利用会員数低迷に伴うリボ残高の積み上げ不足により減少しました。

カードキャッシングは、ローンカード会員の獲得を継続しましたが、プロパーカード会員の減少が響き、取扱高及び営業収益が減少しました。

家賃保証は、主要提携先における安定的な取引拡大のほか、新規提携先からの上積みも寄与し、取扱高及び営業収益が増加しました。

集金代行は、既存提携先との取引が堅調に推移したことに加え、新規提携先の拡大により請求件数が増加し、取扱高及び営業収益が増加しました。

この結果、当事業の取扱高は増加しましたが、営業収益が減少しました。

(ファイナンス事業)

投資用マンション向け住宅ローン保証は、提携金融機関と連携した施策展開により、取扱高及び営業収益が増加しました。

銀行個人ローン保証は、株式会社三菱UFJ銀行におけるマイカーローンの金利施策が奏功し、取扱高及び営業収益が増加しました。

この結果、当事業の取扱高及び営業収益が増加しました。

(その他の事業)

オートリースは、所有から利用への消費者意識の変化を背景に市場が拡大傾向にあるなか、前年度から取り組んでいる推進体制の強化やニーズに応えた運用の見直しなどにより、保有台数が堅調に拡大し、取扱高及び営業収益が増加しました。

事業資金融資は、資金需要の低迷により取扱高は減少しましたが、営業債権残高の積み上げにより営業収益が増加しました。

この結果、当事業の取扱高及び営業収益が増加しました。

以上の結果、国内事業におけるセグメント取扱高は4兆3,407億76百万円(前年同期比3.6%増)、セグメント営業収益は1,293億35百万円(前年同期比4.4%増)、セグメント利益は204億84百万円(前年同期比19.6%減)となりました。

「海外事業」

(クレジット事業)

ベトナムでは、政府による電気自動車の普及推進に伴う需要の高まりにより、四輪の取り扱いが堅調に推移し、取扱高が増加しました。営業収益は、未収債権の抑制を目的に商用車の取り扱いを停止したことで営業債権残高の積み上げが不足し、減少しました。

インドネシアでは、事業構造改革の一環で、未収債権が高止まりにある四輪や中古二輪の取り扱いを停止したことにより、取扱高及び営業収益が減少しました。

カンボジアでは、営業エリア拡大の継続や遠方顧客向け申込手続きの効率化施策が奏功し、取扱高及び営業収益が増加しました。

フィリピンでは、収益性の改善を目的とした審査の厳格化や利上げの実施により、取扱高が減少しましたが、営業収益は営業債権残高の積み上げにより増加しました。

この結果、当事業の取扱高及び営業収益が減少しました。

(ペイメント事業)

ベトナムで展開するクレジットカードは、事業構造改革の一環で新規受付の中止及び既存会員の利用を停止しております。

この結果、当事業の取扱高及び営業収益が減少しました。

(その他の事業)

ベトナムやカンボジアで展開する個人向け無担保ローンは、ベトナムでは既存顧客を中心としたテレセールスや営業活動の強化が奏功し、取扱高が増加しました。営業収益は、未収債権の抑制を目的に審査の厳格化を行い、営業債権残高が縮小したことにより減少しました。カンボジアでは、未収債権の抑制を図るため審査の厳格化を継続したことにより、取扱高及び営業収益が減少しました。

インドネシアで展開するリースは、事業構造改革の一環で新規受付を中止した影響により、取扱高及び営業収益が減少しました。

この結果、当事業の取扱高及び営業収益が減少しました。

以上の結果、海外事業におけるセグメント取扱高は450億24百万円(前年同期比26.8%減)、セグメント営業収益は164億78百万円(前年同期比15.2%減)、セグメント損失は12億38百万円(前年同期は25億45百万円の損失)となりました。

連結セグメント別取扱高

セグメントの名称	(内訳)	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)		当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)		前年同期比 (%)
		金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	
国内	クレジット	1,039,380	24.8	1,059,602	24.4	1.9
	ペイメント	2,217,208	52.9	2,292,782	52.8	3.4
	ファイナンス	644,074	15.4	679,732	15.7	5.5
	その他	288,749	6.9	308,659	7.1	6.9
	国内計	4,189,412	100.0	4,340,776	100.0	3.6
海外	クレジット	56,228	91.3	41,897	93.1	△25.5
	ペイメント	783	1.3	0	0.0	△99.9
	その他	4,533	7.4	3,127	6.9	△31.0
	海外計	61,545	100.0	45,024	100.0	△26.8
合計		4,250,958	—	4,385,801	—	3.2

連結セグメント別営業収益

セグメントの名称	(内訳)	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)		当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)		前年同期比 (%)
		金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	
国内	クレジット	49,464	39.9	53,067	41.0	7.3
	ペイメント	33,544	27.1	33,216	25.7	△1.0
	ファイナンス	28,522	23.0	31,102	24.0	9.0
	その他	10,636	8.6	10,958	8.5	3.0
	事業収益計	122,168	98.6	128,344	99.2	5.1
	金融収益	1,728	1.4	991	0.8	△42.6
	国内計	123,896	100.0	129,335	100.0	4.4
海外	クレジット	15,054	77.5	13,500	81.9	△10.3
	ペイメント	179	0.9	91	0.5	△49.3
	その他	4,133	21.3	2,762	16.8	△33.2
	事業収益計	19,368	99.7	16,353	99.2	△15.6
	金融収益	65	0.3	124	0.8	88.9
	海外計	19,434	100.0	16,478	100.0	△15.2
国内・海外事業収益計		141,537	98.7	144,698	99.2	2.2
国内・海外金融収益計		1,794	1.3	1,115	0.8	△37.8
合計		143,331	100.0	145,814	100.0	1.7

(注) セグメント間の内部営業収益又は振替高は記載しておりません。

(2) 当四半期の財政状態の概況

(資産)

当第3四半期連結会計期間の資産は、前連結会計年度に比べ482億11百万円増加し、3兆8,549億97百万円となりました。

これは、割賦売掛金は減少したものの、未収入金、立替金、投資有価証券が増加したこと等によるものであります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間の負債は、前連結会計年度に比べ49億15百万円増加し、3兆5,558億92百万円となりました。

これは、支払手形及び買掛金、未払法人税等は減少したものの、債権流動化借入金等有利子負債が増加したこと等によるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間の純資産は、前連結会計年度に比べ432億95百万円増加し、2,991億5百万円となりました。

これは、資本剰余金、資本金の増加等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想については、2025年11月6日の「2026年3月期 第2四半期(中間期)決算短信」で公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	174,712	175,502
割賦売掛金	※1 3,341,923	※1 3,286,661
リース投資資産	110,269	107,241
前払費用	6,664	6,786
立替金	26,466	44,846
未収入金	31,954	109,162
その他	41,735	44,224
貸倒引当金	△32,347	△31,948
流動資産合計	3,701,379	3,742,477
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	9,953	10,173
減価償却累計額	△6,983	△7,164
建物及び構築物（純額）	2,969	3,009
土地	14,828	14,828
その他	13,043	13,475
減価償却累計額	△7,886	△8,210
その他（純額）	5,157	5,264
有形固定資産合計	22,955	23,102
無形固定資産		
ソフトウェア	24,963	25,082
その他	18	17
無形固定資産合計	24,981	25,100
投資その他の資産		
投資有価証券	33,542	39,818
固定化営業債権	184	132
長期前払費用	4,110	4,445
繰延税金資産	2,221	1,929
差入保証金	1,315	1,345
退職給付に係る資産	12,461	12,817
その他	3,754	3,933
貸倒引当金	△120	△105
投資その他の資産合計	57,469	64,317
固定資産合計	105,406	112,520
資産合計	3,806,786	3,854,997

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	221, 268	194, 816
短期借入金	341, 508	338, 647
1年内償還予定の社債	74, 187	98, 391
1年内返済予定の長期借入金	219, 745	242, 421
1年内返済予定の債権流動化借入金	314, 782	310, 767
コマーシャル・ペーパー	402, 500	408, 500
未払金	3, 941	4, 415
未払費用	3, 172	4, 019
未払法人税等	5, 462	1, 967
預り金	79, 439	82, 452
前受収益	1, 359	1, 264
賞与引当金	3, 021	1, 550
ポイント引当金	2, 719	2, 756
債務保証損失引当金	※2 1, 110	※2 1, 203
割賦利益繰延	※3 249, 785	※3 249, 123
その他	25, 541	24, 236
流動負債合計	1, 949, 545	1, 966, 533
固定負債		
社債	164, 592	146, 117
長期借入金	807, 835	791, 623
債権流動化借入金	621, 107	643, 718
繰延税金負債	3, 925	4, 924
利息返還損失引当金	616	517
退職給付に係る負債	92	84
長期預り保証金	1, 444	1, 397
その他	1, 817	975
固定負債合計	1, 601, 431	1, 589, 358
負債合計	3, 550, 976	3, 555, 892
純資産の部		
株主資本		
資本金	16, 138	35, 680
資本剰余金	30, 642	50, 211
利益剰余金	175, 396	182, 038
自己株式	△727	△682
株主資本合計	221, 450	267, 248
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	19, 800	21, 786
繰延ヘッジ損益	30	△107
為替換算調整勘定	4, 066	1, 744
退職給付に係る調整累計額	2, 925	2, 254
その他の包括利益累計額合計	26, 823	25, 678
新株予約権	126	117
非支配株主持分	7, 409	6, 060
純資産合計	255, 809	299, 105
負債純資産合計	3, 806, 786	3, 854, 997

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
営業収益		
事業収益	※1 141,537	※1 144,698
金融収益		
受取利息	77	201
受取配当金	679	866
その他の金融収益	1,201	51
金融収益合計	1,957	1,119
営業収益合計	143,494	145,817
営業費用		
販売費及び一般管理費	102,272	103,853
金融費用		
借入金利息	15,582	18,925
コマーシャル・ペーパー利息	817	1,948
その他の金融費用	1,769	1,869
金融費用合計	18,169	22,743
営業費用合計	120,442	126,596
営業利益	23,052	19,221
営業外収益		
雑収入	33	55
営業外収益合計	33	55
営業外費用		
持分法による投資損失	—	40
株式交付費	—	171
雑損失	9	8
営業外費用合計	9	220
経常利益	23,076	19,055
特別利益		
投資有価証券売却益	668	2,020
特別利益合計	668	2,020
特別損失		
固定資産除却損	2	3
投資有価証券売却損	0	11
70周年記念行事費用	269	—
特別損失合計	271	14
税金等調整前四半期純利益	23,473	21,061
法人税、住民税及び事業税	8,518	6,653
法人税等調整額	△724	526
法人税等合計	7,793	7,180
四半期純利益	15,679	13,880
非支配株主に帰属する四半期純損失（△）	△476	△713
親会社株主に帰属する四半期純利益	16,155	14,593

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
四半期純利益	15,679	13,880
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,833	1,986
繰延ヘッジ損益	227	△220
為替換算調整勘定	△12	△2,794
退職給付に係る調整額	△262	△669
その他の包括利益合計	2,785	△1,698
四半期包括利益	18,465	12,182
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	18,669	13,449
非支配株主に係る四半期包括利益	△204	△1,266

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2025年9月12日付で、株式会社三菱UFJ銀行から第三者割当増資の払込みを受けました。この結果、当第3四半期連結累計期間において資本金が19,542百万円、資本準備金が19,542百万円増加し、当第3四半期連結会計期間末において資本金が35,680百万円、資本剰余金が50,211百万円となっております。

(四半期連結貸借対照表に関する注記)

※1 割賦売掛金

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
クレジット	2,929,412百万円	2,913,501百万円
ペイメント	182,286	157,299
ファイナンス	125,035	118,824
その他	105,188	97,034
計	3,341,923	3,286,661

※2 偶発債務

(1) 次の関係会社について、金融機関からの借入に対し債務保証を行っております。

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
Carsome Capital Sdn. Bhd.	－百万円	1,930百万円
計	－	1,930

(2) 営業上の保証債務

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
提携金融機関が行っている個人向けローン に係る顧客	4,376,454百万円	4,781,217百万円
債務保証損失引当金	1,110	1,203
差引	4,375,344	4,780,014

(3) 営業上の保証予約

当社は、金融機関が保有する貸付金(個人向け住宅ローン、カードローン他)等について、債務保証を行っている保証会社に契約上定められた事由が生じた場合に、当該保証会社に代わって当社が債務保証を行うこととなる保証予約契約を締結しており、当該保証予約契約の対象となっている貸付金等の残高を偶発債務として以下に記載しております。

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
保証会社	277,567百万円	281,755百万円

※3 割賦利益繰延

	前連結会計年度 (2025年3月31日)			当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)			
	当期首 残高 (百万円)	受入額 (百万円)	実現額 (百万円)	当期末 残高 (百万円)	当期首 残高 (百万円)	受入額 (百万円)	実現額 (百万円)
クレジット	242,420	92,539	86,347	248,612	248,612	65,870	66,567
ペイメント	1,044	44,922	44,794	1,172	1,172	33,342	33,307
ファイナンス	－	38,207	38,207	－	－	31,102	31,102
その他	－	19,497	19,497	－	－	13,720	13,720
計	243,464	195,167	188,847	249,785	249,785	144,036	144,698
							249,123

4 当社は、ローンカード及びクレジットカード業務に附帯するキャッシング業務等を行っております。当該業務における貸出コミットメントに係る貸出未実行残高等は次のとおりであります。なお、貸出コミットメント契約においては、借入人の資金使途、信用状態等に関する審査を貸出の条件としているものが含まれているため、必ずしも全額が貸出実行されるものではありません。

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
貸出コミットメントの総額	1,081,290百万円	957,044百万円
貸出実行残高	35,117	33,473
差引額	1,046,172	923,571

(四半期連結損益計算書に関する注記)

※1 事業収益

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
クレジット	64,519百万円	66,567百万円
ペイメント	33,724	33,307
ファイナンス	28,522	31,102
その他	14,770	13,720
計	141,537	144,698

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。
なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
減価償却費	8,370百万円	8,476百万円
のれんの償却額	114	—

(株主資本等に関する注記)

I 前第3四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額	1株当たり 配当額	基準日	効力発生日	配当の原資
2024年6月27日 定時株主総会	普通株式	4,166百万円	120円00銭	2024年3月31日	2024年6月28日	利益剰余金
2024年11月7日 取締役会	普通株式	3,126百万円	90円00銭	2024年9月30日	2024年11月29日	利益剰余金

(注)2024年6月27日定時株主総会による1株当たり配当額には、創立70周年記念配当10円を含んでおります。

2. 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額	1株当たり 配当額	基準日	効力発生日	配当の原資
2025年6月26日 定時株主総会	普通株式	3,476百万円	100円00銭	2025年3月31日	2025年6月27日	利益剰余金
2025年11月6日 取締役会	普通株式	4,476百万円	100円00銭	2025年9月30日	2025年11月28日	利益剰余金

2. 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)

報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注) 1、 2	四半期連結 損益計算書 計上額(注) 3
	国内	海外			
営業収益					
外部顧客への営業収益	123,896	19,434	143,331	—	143,331
セグメント間の内部営業収益 又は振替高	543	—	543	△379	163
計	124,439	19,434	143,874	△379	143,494
セグメント利益又は損失(△)					
営業利益又は営業損失(△)	25,463	△2,545	22,918	133	23,052
持分法による投資損益	—	—	—	—	—
計	25,463	△2,545	22,918	133	23,052

(注) 1. 営業収益の調整額△379百万円は、親子会社間の会計処理統一による調整額等163百万円、セグメント間取引消去等△543百万円であります。

2. セグメント利益又は損失の調整額133百万円は、親子会社間の会計処理統一による調整額等148百万円、のれんの償却額△14百万円であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)

報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注) 1、 2	四半期連結 損益計算書 計上額(注) 3
	国内	海外			
営業収益					
外部顧客への営業収益	129,335	16,478	145,814	—	145,814
セグメント間の内部営業収益 又は振替高	585	—	585	△582	3
計	129,921	16,478	146,399	△582	145,817
セグメント利益又は損失(△)					
営業利益又は営業損失(△)	20,484	△1,197	19,287	△66	19,221
持分法による投資損益	—	△40	△40	—	△40
計	20,484	△1,238	19,246	△66	19,180

(注) 1. 営業収益の調整額△582百万円は、親子会社間の会計処理統一による調整額等3百万円、セグメント間取引消去等△585百万円であります。

2. セグメント利益又は損失の調整額△66百万円は、親子会社間の会計処理統一による調整額等であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益に持分法による投資損益を加減した金額と調整を行っております。

(収益認識に関する注記)

当社グループにおけるセグメント別の顧客との契約及びその他の源泉から認識した収益の内訳は次のとおりであります。

I 前第3四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)

(単位：百万円)

	報告セグメント				合計	
	国内		海外			
	顧客との契約 から認識した 収益	その他の源泉 から認識した 収益	顧客との契約 から認識した 収益	その他の源泉 から認識した 収益		
クレジット	6,713	42,750	—	15,054	64,519	
ペイメント	16,417	17,127	—	179	33,724	
ファイナンス	1,917	26,605	—	—	28,522	
その他	3,272	7,364	1,096	3,037	14,770	
事業収益計	28,320	93,848	1,096	18,272	141,537	
金融収益	—	1,728	—	65	1,794	
合計	28,320	95,576	1,096	18,338	143,331	

II 当第3四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)

(単位：百万円)

	報告セグメント				合計	
	国内		海外			
	顧客との契約 から認識した 収益	その他の源泉 から認識した 収益	顧客との契約 から認識した 収益	その他の源泉 から認識した 収益		
クレジット	7,554	45,513	—	13,500	66,567	
ペイメント	16,334	16,881	—	91	33,307	
ファイナンス	2,104	28,997	—	—	31,102	
その他	3,173	7,784	543	2,218	13,720	
事業収益計	29,167	99,177	543	15,810	144,698	
金融収益	—	991	—	124	1,115	
合計	29,167	100,168	543	15,934	145,814	

(1 株当たり情報に関する注記)

1 株当たり四半期純利益及び算定上の基礎、潜在株式調整後 1 株当たり四半期純利益及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
(1) 1 株当たり四半期純利益	465円23銭	376円12銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益(百万円)	16,155	14,593
普通株式に係る親会社株主に帰属する四半期純利益(百万円)	16,155	14,593
普通株式の期中平均株式数(千株)	34,726	38,800
(2) 潜在株式調整後 1 株当たり四半期純利益	463円86銭	375円42銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益調整額(百万円)	—	—
普通株式増加数(千株)	102	72